Shinto News

2025.2

第75号

最近のトピックス Topics

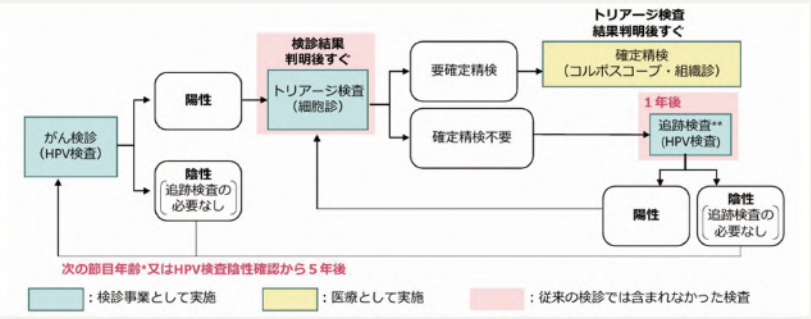
HPV単独法による子宮がん検診の導入について

産婦人科部長
永井　隆司

日本では、昭和58年より子宮頸部細胞診による子宮頸がん検診が開始され、子宮頸がんによる死亡率の減少に大きな成果をあげてきました。しかしながら、近年、子宮頸がんの罹患率・死亡率はともに増加傾向にあります。

その理由の一つは、世界の国々の検診受診率に比べてみると、アメリカやヨーロッパの国々では70%以上であるのに対し、日本の検診受診率は40%台と低いことがあります。特に20歳代を含む若年層の検診受診率は低迷したままとなっています。更に、検診の方法にも問題があります。細胞診で、子宮頸がんや前がん病変を有する人が陽性を示す割合は、50%から70%であり、決して高いと言えず、がんや前がん病変がある人が検診で見逃されてしまう可能性があります。したがって、細胞診による検診だけでは十分とは言えません。そこで近年、検討されているのが、HPV検査を用いた子宮頸がん検診の導入です。これは子宮の入り口にHPVが感染しているかどうかを調べるもので、これ単独、もしくは細胞診と組み合わせて行う検診手法です。HPV検査を導入した検診方法には、HPV単独法と細胞診・HPV検査併用法がありますが、併用法では全受診者にHPV検査と細胞診を行うことになり、HPV陰性であっても細胞診に異常を認めれば、精密検査を行うことになります。それに対し、HPV単独法では、20歳代はこれまで通り2年毎に細胞診を受けますが、30歳以上はHPV検査陰性であれば5年毎のHPV検査を行い、HPV陽性であった場合には、採取された検体を用いて細胞診を行い、異常があれば精密検査を行い、細胞診に異常がなければ1年後に追跡検査を行うことになります（図1）。有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン2019年度版において、HPV単独検査は、現在の細胞診単独法と同じ、推奨グレードA、併用法は推奨グレードCとなっています。

HPV単独法が導入され、HPV検査が陽性の場合に精密検査を行うようにすれば、がんや前がん病変を見逃す可能性は低くなります。また、検診の間隔も延長できる等の利益がありますが、その一方で、HPV感染が陽性であっても病気が無い女性も多く、このような方も陽性と判定されてしまい、本来必要の無い精密検査を受けなければならなくなるといった問題もあり、更にHPV陽性者に対する長期の追跡を含む精度管理体制の構築が前提であり、熊本市でもHPV単独法導入の準備を行っていますが、まだまだ時間がかかる可能性があります。



『出典：厚生労働省　健康・生活衛生局がん・疾病対策課ホームページより』

図1

理　念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。

KUMAMOTO SHINTO General Hospital
つながる医療。ひろがる未来。
医療法人 創起会
くまもと森都総合病院
〒862-8655　熊本市中央区大江 3-2-65
TEL 096-364-6000（代表）
FAX 096-362-5204
https://www.k-shinto.or.jp

左から　田口裕之麻酔科部長、洲崎祥子手術室部長

診療科紹介　麻酔科

❶ 手術麻酔について

2025年1月現在、手術室4部屋で田口と洲崎で担当しています。また週2回、大学麻酔科より麻酔応援に来ていただいています。手術麻酔に関しては、24時間オンコール体制で緊急手術に備えています。また全身麻酔や脊髄くも膜下麻酔のすべての麻酔症例に対応し、患者さんに負担が少ない麻酔管理を目標にしています。同時に、近年の働き方改革も念頭に置きながら、手術決定から手術室入室までの期間を安全に短縮するための手術室運営を目指しています。麻酔は全身麻酔（静脈麻酔、吸入麻酔）、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、エコーガイド下の末梢神経に対する伝達麻酔などの技術を駆使し、患者さんの負担が無いように努めています。また当院では、入院サポートセンターが立ち上げ、術前休止薬の説明や手術麻酔に関しての説明などを多職種で協力して出来る体制が整いつつあります。

各科の手術麻酔の現況

眼科：局所麻酔で行う白内障手術を中心に、全身麻酔で行う角膜移植、涙道疾患や、開放病床を利用した小児の斜視手術などを行っています。最近は局所麻酔の鎮静に麻酔科が介入することが増加しています。

外科：消化管（悪性、良性）に対する手術（腹腔鏡下、開腹下）、胆石・胆嚢炎手術、鼠径ヘルニア手術、虫垂炎手術、開放病床を利用した肛門手術を行っています。

整形外科：現在は整形外科縮小に伴い手術が休止中です。

乳腺外科：乳がんに対して乳房全摘、部分切除を多数行っています。化学療法のための中心静脈ポート設置の手術も手術室で数多く行っています。

皮膚科：皮膚腫瘍（良性、悪性）の手術を行っています。腫瘍の部位や大きさにより、日帰り外来手術や、入院での局所麻酔・全身麻酔による手術に対応し、植皮や皮弁術による切除後の再建を行っています。また局所麻酔症例に関しても、患者の希望があれば、術中に麻酔科医が関与し積極的な術中鎮静を行っています。

産婦人科：子宮や卵巣の良性腫瘍に対する開腹手術、骨盤臓器脱手術、子宮頚部上皮内腫瘍に対する円錐切除術、子宮内膜ポリープに対する子宮鏡下手術などを行っています。

❷ 麻酔科外来

週3回の午前にペインクリニックと術前麻酔科診察を行っています。

月曜日は洲崎が急性期疼痛対応だけでなく、心理社会的アプローチを用いた慢性疼痛に対応しています。

水・金曜日は田口が担当しています。特色として前任の麻酔科部長の大津哲郎先生が考案し、臨床経験を積み重ねたITSS（Intrathecal Single-Steroid Administration）を田口が受け継ぎ、帯状疱疹後神経痛や脊椎手術後疼痛症候群などの難治性慢性疼痛への治療を行っています。また急性期の帯状疱疹症で神経痛に移行しそうな、困難な痛みのある患者さんには皮膚科と共同診療で積極的な神経ブロック治療を行っています。無論、一般的な神経ブロック療法や薬物療法で改善が乏しい時は、整形外科への手術適応の確認や、熊本大学病院麻酔科ペインクリニックへの相談を躊躇なく行っております。

術前麻酔科外来は手術麻酔の麻酔科診察を外来で行うことにより、丁寧な術前麻酔評価が実現出来ます。入院サポートセンターの強力なバックアップのもとに、医師の働き方改革の側面からも良い結果を得ております。

❸ 禁煙外来

手術麻酔ならびにペインクリニックにおいても喫煙は悪影響しかないので、麻酔科で禁煙外来を担当することに手を挙げさせていただきました。毎週金曜日午前におこなっております。

（麻酔科部長　田口 裕之）

『第34回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ　それ乳腺センターにやらせて下さい

日　時　2025年2月20日（木）17：30～

場　所　くまもと森都総合病院 5F 大会議室

講　師　乳腺センター 部長　中野 正啓

開催方法　ハイブリッド開催（Web 参加も可能です）

参加方法　下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。
お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
（https://bit.ly/426TYnQ）

患者紹介について

患者さんご紹介の流れ

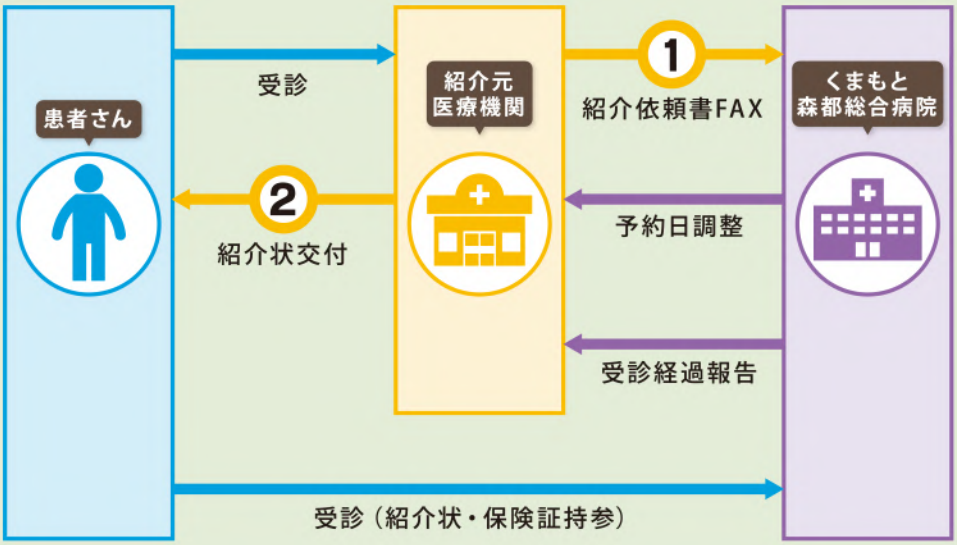
① 外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へ**FAX（096-364-8585）**ください。所定書式を準備しております。
当院ホームページからダウンロードも可能です。

https://www.k-shinto.or.jp/　トップページ ＞ 医療関係者の方へ ＞ **患者紹介について**

② 患者さんへ紹介状をお渡しいただきますようお願いします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに**紹介状（診療情報提供書）**をお渡しいただき、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約（FAX予約）受付時間	FAX送付先　地域医療連携室
平日9時00分から16時00分まで	FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介について　**緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。**

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いします。

▼

地域医療連携室　Tel.096-364-9790　Fax.096-364-8585

医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

外来診療担当医一覧

〒862-8655
熊本市中央区大江三丁目2番65号
TEL 096－364－6000（代表）
FAX 096－362－5204
URL：https://www.k-shinto.or.jp

受付時間　午前 8:00～11:00（再来機の受付は7:30より開始）　※急患はこの限りではございません

2025年2月1日現在

	午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕						
総合診療科	午前	濵 諒輔 初診	吉田 健	宮村 智裕	吉田 健	宮村 智裕
		宮村 智裕 再診	濵 諒輔	吉田 健 再診		濵 諒輔
	午後			宮村 智裕 再診 訪問診療		
肝臓・消化器内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人
		柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己	東野 奈津己	泉 見奈
内視鏡担当	午前	宮瀬 志保	東野 奈津己	宮瀬 志保	柚留木 秀人	宮瀬 志保
		東野 奈津己	柚留木 秀人	柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己
		泉 見奈		泉 見奈		
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三
		大徳 勇人	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	宮川 寿一
			宮川 寿一			
	午後	下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一	大徳 勇人
					鈴島 仁	
腫瘍内科	午前	山本 春風	采田 志麻		采田 志麻	山本 春風
	午後		山本 春風			采田 志麻
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後	中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介
	午後	水足 謙介				
リウマチ膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後			高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前			古川 嗣大（熊大） 再診		
代謝・内分泌内科	午後			有馬 由佳（熊大） 再診		
外科	午前	横山 幸生	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子
		田嶋 ルミ子				
	午後	手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター（乳腺外科） 午前 8:30～12:00 午後 14:00～16:00 （完全予約制）	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診 手術
	午後	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
		藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司
		岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠
	午後	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	永井 隆司 予約
						岡島 翠 検診
整形外科（完全予約制）	午前		砥上 若菜 再診	髙田 興志 再診		
	午後					担当医 再診
リハビリテーション科	午前				細川 浩 再診	
眼科（完全予約制）	午前	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴		草野 雄貴
		藤崎 雅彦	藤崎 雅彦	藤崎 雅彦 9:30診療開始	手術	藤崎 雅彦 9:30診療開始
		松本 光希	松本 光希 9:30診療開始			
	午後	手術	担当医 再診	手術	手術	手術
					松本 光希	
皮膚科（完全予約制）	午前	田中 憲一郎	松尾 敦子	松尾 敦子 訪問診療	城野 昌義 再診	松尾 敦子
		松﨑 恵里奈	松﨑 恵里奈	田中 憲一郎	田中 憲一郎	松﨑 恵里奈
	午後		手術		回診	手術
緩和ケア科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	
麻酔科 ペインクリニック（完全予約制）	午前	洲崎 祥子		田口 裕之		田口 裕之
		田口 裕之（術前診療）		洲崎 祥子（術前診療）		田口 裕之（術前診療）
禁煙外来（予約制）	午前					田口 裕之
放射線科（幸秀明・西東葉子）	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医